

H23年度調査結果(図表)

* 集計に用いた「施設区分」について

入所者の構成について、年齢を「18歳未満」「18～64歳」「65歳以上」の3区分、入所の主な理由を「知的障害」「身体障害」「精神障害」「要介護者」の4区分とし、それぞれ該当する人数または人数割合を尋ねた。
 入所者の人数割合で、「要介護者」が最も多い施設を「介護施設」、「身体障害」が最も多い施設を「身体障害者施設」、「知的障害」が最も多い施設を「知的障害者施設」と区分し、以下の集計に用いた。なお、「精神障害」が最も多いとした施設はなかった。
 各施設区分の入所者の特性を以下に示す。

施設区分	最も人数割合が高い区分とその割合	施設数	備考
介護施設	「65歳以上の要介護者」	100%	100
		95-99%	61
		90-94%	10
		65-89%	4
		合計	175
身体障害者施設	「18～64歳の身体障害」	90-100%	3
		70-79%	1
		60-69%	1
		50-59%	4
		計	9
	「18歳未満の身体障害」	100%	1
	合計	10	
知的障害者施設	「18～64歳の知的障害」	90-100%	16
		80-89%	9
		70-79%	5
		60-69%	1
		50-59%	2
		計	33
	「18歳未満の知的障害」	70-79%	1
		50-59%	1
		計	2
		合計	35

1. 貴施設についてお答えください。
 (1) 施設種別をお答えください。

施設区分	地域	指定介護老人福祉施設(特別養護老人ホームを含む)	介護老人保健施設	指定介護療養型医療施設	障害者支援施設	身体障害者療護施設	知的障害者更生施設	知的障害者授産施設	障害児施設	施設数
介護施設	宇都宮市	24	9	3						36
	県西	14	7	1						22
	県東	10	5							15
	県南	27	12	1						40
	県北	22	8	1						31
	安足	24	7							31
	計		121	48	6					
		70%	27%	3%						100%
身体障害者施設	宇都宮市				1				1	2
	県西				1					1
	県東				1					1
	県南				2					2
	県北				3	1				4
	安足									
	計				8	1			1	10
				80%	10%			10%	100%	
知的障害者施設	宇都宮市				4		2			6
	県西				3		1	1		5
	県東				2					2
	県南				6				1	7
	県北				6		1		3	10
	安足				2		2	1		5
	計				23		6	2	4	35
				66%		17%	6%	11%	100%	

(2)開設者をお答えください。

施設区分	国、県、市 町(公立)	医療法人	社会福祉 法人	その他の 法人、個 人	施設数
介護施設	1	44	126	4	175
	1%	25%	72%	2%	100%
身体障害者施設	3		7		10
	30%		70%		100%
知的障害者施設	1		34		35
	3%		97%		100%

(5)入所者に提供する(できる)食事をお答えください。(複数回答)

施設区分	一般食(常 食)	軟食(刻み 食含む)	流動食(ミ キサ一食 含む)	おやつ	施設数
介護施設	175	175	175	173	175
	100%	100%	100%	99%	100%
身体障害者施設	10	10	9	6	10
	100%	100%	90%	60%	100%
知的障害者施設	35	34	30	32	35
	100%	97%	86%	91%	100%

2.貴施設の歯や口腔の健康管理に関する状況についてお答えください。

(1)嘱託歯科医についてお答えください。

①委嘱していますか。

施設区分	委嘱している(職員として している場合も含む)	過去に委嘱したことがあるが、 現在は委嘱していない	今まで委嘱したことは ない	施設数
介護施設	111	1	63	175
	63%	1%	36%	100%
身体障害者施設	4		6	10
	40%		60%	100%
知的障害者施設	10		25	35
	29%		71%	100%

②委嘱しない理由をお答えください。(複数回答)

施設区分	嘱託歯科医の制度を知らない	委嘱する必要性を感じられない、何を頼めばよいか分からない	委嘱できる歯科医師が見つからない、依頼先や相談先が分からない	費用が負担できない	その他	施設数
介護施設	9	22	10	17	17	64
	14%	34%	16%	27%	27%	100%
身体障害者施設		3	2		1	6
		50%	33%		17%	100%
知的障害者施設	6	5	5	2	11	25
	24%	20%	20%	8%	44%	100%

(2)入所者の歯や口腔の健康管理状況についてお答えください。

①歯磨きの機会を取り入れていますか。

ア)頻度

施設区分	毎食後	1日1回以上	取り入れていない	施設数
介護施設	103	72		175
	59%	41%		100%
身体障害者施設	5	4	1	10
	50%	40%	10%	100%
知的障害者施設	24	11		35
	69%	31%		100%

イ)対象

施設区分	全員	全員ではない	未記入・不明	施設数
介護施設	135	33	7	175
	77%	19%	4%	100%
身体障害者施設	8	1		9
	89%	11%		100%
知的障害者施設	30	3	2	35
	85%	9%	6%	100%

ウ)方法

施設区分	介助が必要な方には職員が介助している	歯磨き介助はしていない	未記入・不明	施設数
介護施設	167	1	7	175
	95%	1%	4%	100%
身体障害者施設	9			9
	100%			100%
知的障害者施設	33		2	35
	94%		6%	100%

②歯磨き以外のう歯(むし歯)予防の取り組みについて。(複数回答)

施設区分	定期的にフッ素塗布を受けさせている	定期的にフッ化物洗口をしている	特に取り組んでいない	施設数
介護施設	4	4	164	175
	2%	2%	94%	100%
身体障害者施設			10	10
			100%	100%
知的障害者施設	1	1	33	35
	3%	3%	94%	100%

③口腔ケアや口腔機能向上の取り組みについて。(複数回答)

施設区分	舌や粘膜など歯以外の口腔内の清潔を保つ取り組みを取り入れている	義歯の手入れを行っている	「健口体操」など口腔機能維持向上のための取り組みを取り入れている	歯科医師や歯科衛生士による指導や実践を取り入れている	特に取り組んでいない	施設数
介護施設	131	163	110	70	3	175
	75%	93%	63%	40%	2%	100%
身体障害者施設	6	6	5	3	1	10
	60%	60%	50%	30%	10%	100%
知的障害者施設	12	24	3	17	7	35
	34%	69%	9%	49%	20%	100%

④歯科検診について。

ア)頻度

施設区分	年に1回以上	年に1回未満	実施していない	未記入・不明	施設数
介護施設	41	31	99	4	175
	23%	18%	57%	2%	100%
身体障害者施設	3	4	3		10
	30%	40%	30%		100%
知的障害者施設	18	11	6		35
	52%	31%	17%		100%

イ)対象

施設区分	全員	全員ではない	未記入・不明	施設数
介護施設	24	48		72
	33%	67%		100%
身体障害者施設	4	3		7
	57%	43%		100%
知的障害者施設	20	8	1	29
	69%	28%	3%	100%

ウ)方法

施設区分	歯科診療所を受診	訪問してもらうなどして施設内で実施	未記入・不明	施設数
介護施設	10	60	2	72
	14%	83%	3%	100%
身体障害者施設	3	4		7
	43%	57%		100%
知的障害者施設	9	17	3	29
	31%	59%	10%	100%

⑤歯科受診について。

ア)受診先

施設区分	嘱託歯科医またはかかりつけの歯科診療所	とちぎ歯の健康センター診療所	病院(歯科口腔外科)	特に決まっていない	未記入・不明	施設数
介護施設	158	1	2	13	1	175
	90%	1%	1%	7%	1%	100%
身体障害者施設	7		2	1		10
	70%		20%	10%		100%
知的障害者施設	28	7				35
	80%	20%				100%

イ)受診方法

施設区分	自分で(家族の介助含む)	職員の介助で	往診、訪問診療	特に決まっていない	未記入・不明	施設数
介護施設	16	57	92	9	1	175
	9%	33%	52%	5%	1%	100%
身体障害者施設	1	6		1	2	10
	10%	60%		10%	20%	100%
知的障害者施設	1	30	4			35
	3%	86%	11%			100%

⑥その他取り組んでいることはありますか。(複数回答)

施設区分	ケアプランや個別支援計画に歯や口腔の健康に関して記載している	施設内カンファレンスの際、入所者の歯や口腔の健康についても取り上げている	入所者の歯や口腔の健康について専門家に相談している	職員が歯や口腔の健康に関する研修を受けるなどの機会がある	介護保険での口腔機能維持管理加算を算定している(介護保険施設のみ)	施設数
介護施設	111	119	81	99	35	175
	63%	68%	46%	57%	20%	100%
身体障害者施設	5	4	2	5		10
	50%	40%	20%	50%		100%
知的障害者施設	19	22	16	12		35
	54%	63%	46%	34%		100%

(3)入所者の歯や口腔の健康状態についてお答えください。

* 入所者の状態について、「18歳未満」「18～64歳」「65歳以上」の年齢区分で、それぞれの症状に自覚的に該当する人数または人数割合を尋ねた。

該当する人数割合の区分ごとの施設数を以下に示す。

なお、該当する年齢の者が入所している施設に限っての集計のため、施設数計は施設区分の合計と一致しない。

【介護施設,65歳以上】

症状が該当する人数割合の区分	歯が痛い		歯ぐきのはれ・出血		かみにくい		飲み込みにくい	
0%	125	71%	100	57%	60	34%	33	19%
1-10%	48	27%	55	31%	39	22%	52	30%
11-20%			6	3%	20	11%	39	22%
21-30%			5	3%	16	9%	25	14%
31-40%			2	1%	10	6%	12	7%
41-50%			1	1%	6	3%	3	2%
51-60%			1	1%	6	3%	3	2%
61-70%			1	1%	6	3%	2	1%
71-80%			1	1%	8	5%	4	2%
81-90%			1	1%	1	1%		
91-100%					2	1%	1	1%
不明	2	1%	2	1%	1	1%	1	1%
施設数	175	100%	175	100%	175	100%	175	100%

H23年度調査結果(図表)

【身体障害者施設,18歳未満】

症状が該当する 人数割合の区分	歯が痛い		歯ぐきのはれ・出血		かみにくい		飲み込みにくい	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0%	1	100%						
1-10%			1	100%				
11-20%					1	100%	1	100%
21-30%								
31-40%								
41-50%								
51-60%								
61-70%								
71-80%								
81-90%								
91-100%								
不明								
施設数	1	100%	1	100%	1	100%	1	100%

【身体障害者施設,18～64歳】

症状が該当する 人数割合の区分	歯が痛い		歯ぐきのはれ・出血		かみにくい		飲み込みにくい	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0%	4	44%	4	44%	5	56%	2	22%
1-10%	4	44%	2	22%	2	22%	3	33%
11-20%					1	11%	1	11%
21-30%							1	11%
31-40%							1	11%
41-50%								
51-60%								
61-70%			1	11%				
71-80%								
81-90%								
91-100%			1	11%				
不明	1	11%	1	11%	1	11%	1	11%
施設数	9	100%	9	100%	9	100%	9	100%

【身体障害者施設,65歳以上】

症状が該当する 人数割合の区分	歯が痛い		歯ぐきのはれ・出血		かみにくい		飲み込みにくい	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0%	5	63%	3	38%	2	25%	1	13%
1-10%	2	25%	1	13%	4	50%	2	25%
11-20%							2	25%
21-30%			1	13%			1	13%
31-40%					1	13%	1	13%
41-50%			1	13%				
51-60%								
61-70%								
71-80%								
81-90%								
91-100%			1	13%				
不明	1	13%	1	13%	1	13%	1	13%
施設数	8	100%	8	100%	8	100%	8	100%

H23年度調査結果(図表)

【知的障害者施設,18歳未満】

症状が該当する 人数割合の区分	歯が痛い		歯ぐきのはれ・出血		かみにくい		飲み込みにくい	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0%	2	50%	3	75%	3	75%	3	75%
1-10%	1	25%					1	25%
11-20%	1	25%	1	25%	1	25%		
21-30%								
31-40%								
41-50%								
51-60%								
61-70%								
71-80%								
81-90%								
91-100%								
不明								
施設数	4	100%	4	100%	4	100%	4	100%

【知的障害者施設,18～64歳】

症状が該当する 人数割合の区分	歯が痛い		歯ぐきのはれ・出血		かみにくい		飲み込みにくい	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0%	24	69%	6	17%	9	26%	13	37%
1-10%	7	20%	5	14%	5	14%	14	40%
11-20%	4	11%	5	14%	5	14%	6	17%
21-30%			9	26%	5	14%		
31-40%			1	3%	4	11%		
41-50%			3	9%	3	9%	1	3%
51-60%			4	11%	1	3%	1	3%
61-70%			1	3%	1	3%		
71-80%					1	3%		
81-90%			1	3%				
91-100%					1	3%		
不明								
施設数	35	100%	35	100%	35	100%	35	100%

【知的障害者施設,65歳以上】

症状が該当する 人数割合の区分	歯が痛い		歯ぐきのはれ・出血		かみにくい		飲み込みにくい	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0%	27	93%	18	62%	11	38%	13	45%
1-10%	1	3%	1	3%	1	3%	2	7%
11-20%			4	14%	2	7%	2	7%
21-30%					1	3%	3	10%
31-40%			2	7%	3	10%	4	14%
41-50%	1	3%	1	3%	5	17%	2	7%
51-60%			1	3%	1	3%	2	7%
61-70%			1	3%	4	14%		
71-80%								
81-90%								
91-100%			1	3%	1	3%	1	3%
不明								
施設数	29	100%	29	100%	29	100%	29	100%

H23年度調査結果(図表)

(4)入所者の歯や口腔の健康管理のため、今後強化したい、または取り入れたい活動をお答えください。(複数回答:3つまで)

施設区分	歯磨き指導や介助	歯に良いとされる食事の提供	フッ化物洗口やフッ素塗布	口腔ケア	噛むことや飲み込むことなど口腔機能向上の取り組み	定期的な歯科検診受診	受診先や相談先の確保、連携強化	嘱託歯科医の選任	歯科衛生士など専門職の採用	施設数
介護施設	113	19	15	139	128	34	21	6	5	175
	65%	11%	9%	79%	73%	19%	12%	3%	3%	100%
身体障害者施設	7		1	4	4	4	1	1	1	10
	70%		10%	40%	40%	40%	10%	10%	10%	100%
知的障害者施設	28	6	7	21	17	10	8	2		35
	80%	17%	20%	60%	49%	29%	23%	6%		100%

3.「栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例」(平成23年4月施行)を知っていますか。

施設区分	内容を含めて知っている	名前は聞いたことがあるが、内容は知らない	知らない(初めて知った)	未記入・不明	施設数
介護施設	44	83	45	3	175
	25%	47%	26%	2%	100%
身体障害者施設	4	3	3		10
	40%	30%	30%		100%
知的障害者施設	10	12	13		35
	29%	34%	37%		100%

H23年度調査結果(図表)

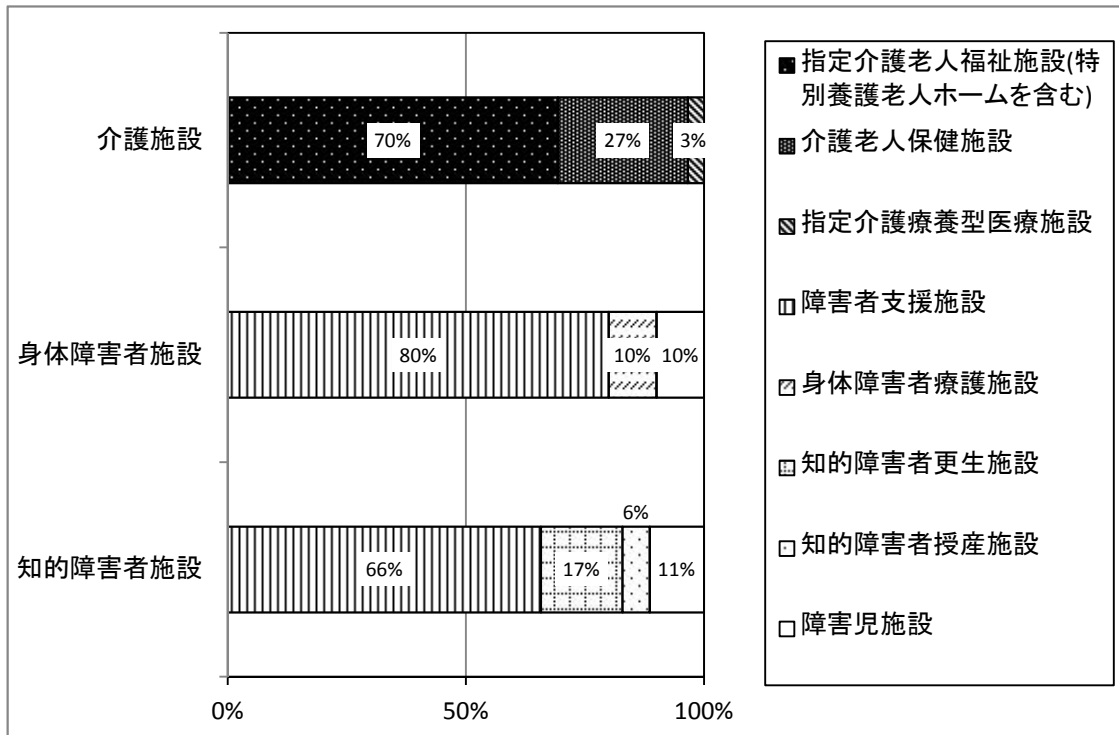
(5)入所者の歯や口腔の健康のため、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士など専門職に望むことはありますか。

介護施設	<p>症状別の治療の他に定期的な歯科検診を望む 施設内で車椅子上で診療</p> <p>人間の体で最重要な箇所の一つは口腔と考えています。仕事、スポーツでも重要で す。噛めない事による老化、脳の活性化肺炎等基本は口腔です。人相までも変わります。 精神面迄影響します。医学的に軽視されている部分ですが、歯学啓蒙・国民の 歯、口腔への認識、重要性が認知される事を望みます。また、介護保険でも軽視され口 腔ケアで衛生士を雇う事ができるような点数を望みます。</p> <p>定期的な口腔内の診察と施設職員への指導・助言。 特養に入居している高齢者は、認知症がある方が多く、治療が難しい事もあろうかと思 います。治療内容では技工ではなく、その歯を活かしての処置を望みます。</p> <p>口腔体操、アイスマッサージ等の指導 嘱託歯科医はいないが、協力歯科医院はある。今後連携強化を図り、口腔機能維持管 理加算を算定していく予定である。それにあたり、口腔ケア・口腔機能維持・向上を目的 としたスキルの指導をしてほしいと思っている。</p> <p>多職種の連携の為、情報交換の場を設けたい。 認知症の方を患者として診て頂く際に慣れていない歯科医師、歯科衛生士が多い。施 設入所のほぼ100%は認知症なので、接し方を、勉強してほしい。</p> <p>高齢者医療と、一般の医療の区別を、してほしい。治すのがDrの仕事かと思うが、高齢 者の場合、保存的療法が主になる方が多い。Drによっては、治す医療をそのまま、高 齢者医療にもちこんでくる方もいる。</p> <p>指示が通じない方の治療が難しい様です。受診しやすい環境作りが必要と思います。 相談しやすい環境作り。</p> <p>入れ歯の適正化 現在歯科医師より口腔ケアについての指導を受けているので継続していきたい。 在宅の方の歯科フォロー。本人も家族も自覚が低い方がおられる。</p> <p>口腔内のトラブルだけではなく、今後は、嚥下や咀嚼に対しても適切なアドバイスが いただけるとありがたいのですが。</p> <p>入所している方は障害を持っている方がほとんどなので、歯科医師等の専門職の方に 施設へ来ていただき、定期的な検診や軽微な治療、口腔の機能維持やケアについて助 言をいただきたい。</p> <p>総義歯についている“歯”がとれたり、それをあやまってのみこんでしまうということは、 よくある事例なのではないでしょうか。一連の取り扱いには注意しているつもりですが、とれてい ることが多いのは、当苑だけでしょうか。作成の過程の件は、不明です。</p> <p>歯のない人の歯ぐきのケアの仕方など教えて欲しい。 往診にて依頼をしているが、その際口腔ケア等について指導していただいているので とても参考になっています。地域で口腔ケア等の講習を開催していただけると、参加しや すいと思っています。</p> <p>高齢になると義歯が合わなくなっても家族は、新しい歯を造ってやらない。 家族へのPR歯は健康のバロメーター 義歯を作っても義歯が合わず、調整に時間がかかる。 食は健康の源、そのためには、口腔内の健康がカギですので、日頃より、治療や予防 できる体制が必要だと思います。</p> <p>認知症による意志疎通が困難な高齢者の口腔ケアの方法が清拭の対応になっている ため。何か良い方法はないか。 定期的な歯科衛生士による口腔内又は歯のチェックをしてほしい。</p> <p>虫歯等が残ったままになっている入所者の口臭対策 口腔ケア、口腔機能向上の為に研修会を、定期的実施して頂きたいと思います。 経管栄養者の口腔ケアの方法。 歯ぐきがやせて、入れ歯が合わなくなりますが、いつまでも常食を摂取していただき たいので、良い調整の方法(効率の良い)があればと考えます。</p> <p>入所する前に歯科検診を受けることで歯・口腔の健康づくりにつながると思います。(入 所後歯の不具合があり、歯科受診していることが多い為。)老年期50歳、60歳での歯の 検診(無料)高齢に向かってお願いしたい。 訪問診療等検討したが、該当する歯科が見つからなかった経緯あり えん下機能の回復などについての知識を広める。 口腔ケアの無料DVDの製作。</p> <p>特になし。必要時は通院している 入居者を個別に歯科医、病院に連れていくのにも限界があり、訪問指導等を行なっ ただけると、ありがたいです。又、職員研修の機会を、教えて(開催)して頂けるとあり 定期的な助言等の指導を望む。 毎日入所者の口腔ケアを歯科衛生士にやってもらえるといい。特にうがいが出来ない 方の口腔ケアは大変です。</p>
------	--

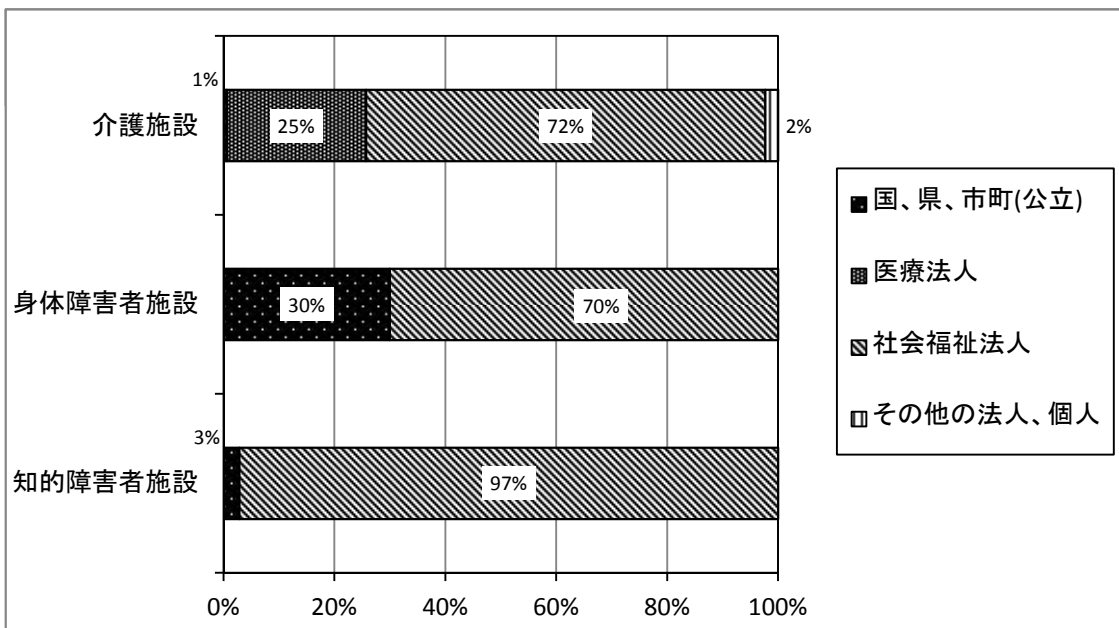
H23年度調査結果(図表)

	<p>健口体操など口腔機能維持向上のための研修を開設していただきたい。</p> <p>障害のある高齢者に対する分かりやすい口腔ケアのポイントを教えてください。(例 口が開かない方など)</p> <p>無料で定期検診を行ってほしいです。</p> <p>個別的な具体策レベルでの知識・技術指導を受けたい。歯・口腔に係る健康づくりを、日常生活の流れの中で何を、いつ、どの様に支援・介助・援助を実践するシステム又はマニュアル化(取組み)に専門的な助言と協力を現場としては願っています。</p> <p>施設との連携強化→定期検診につなげて早期発見・介入につなげたい</p> <p>摂食機能会議等の取り組みで、既に参入して頂いているため現状でOK</p> <p>定期的・継続的な介入が、可能になって欲しい。</p> <p>介護(介助)に関わる職員に対する定期的な指導など。</p> <p>老健と歯科の連携がとりやすくなると良い。</p> <p>加算導入や研修の受け入れについて歯科と検討できると良い。</p> <p>義歯にネームを入れていただくことは、できるでしょうか。認知症の方で、すぐにはずしてどこにでも置いてしまうと、誰のものか、確認するのに時間を要します。</p> <p>入所者全員の歯科受診。</p> <p>認知症により指示が入らず開口しないや介護抵抗のある高齢者の口腔ケアの仕方及び清潔保持についてのセミナー等を企画して欲しい</p>
身体障害者施設	<p>全身麻酔での対応を必要とされる利用者への治療、ケア等に関して。</p> <p>歯科治療にあたり、診察台に座られない利用者は、まず治療する環境に慣れることから始まるため完治するまでにかかなり時間を要し、そのため全員を検診や受診へは現実的に大変、難しい状況です。出来れば、定期的に訪問受診や指導について強化していただき、障害を理解して長期に治療していただきたいと思えます。</p> <p>障害者施設であり治療に協力的でない方も居る中、治療困難者に対し大変お世話になっております。今後共々協力よろしくお願ひ致します。</p> <p>ボランティア団体による定期的な歯科検診や地域の歯科医の協力等、恵まれた環境にあります。上記(4)の1・4・5に関して歯科衛生士等による支援員向けの講習を施設ごとに派遣していただけるとよいと思えます。(また最重度、強い行動障害をもった方の治療に関して巡回歯科治療が以前のようにうけられるとよい。)</p> <p>歯や口腔の健康に関する研修会、相談会を施設にて設けて下さい。</p> <p>口腔ケアのし方や歯ブラシのし方などの定期的な情報を発信していただきたい。</p> <p>口を開くよう指示しても拒否、治療を要しても、精神面が不安定になると治療を拒否する入所者がおります。落ちついて、治療が受けられるよう、働きかけが必要と思われる。</p> <p>障害者(拒否が強い人)に対しても、診察治療していただける近医や訪問医を希望。</p> <p>定期的に歯石除去や口腔内マッサージを行なっていただきたいです。</p> <p>拒否のある利用者への治療、予防へのとりくみ。移動が困難な利用者への往診対応の知的障害があることで、診察拒否をされるケースがありますが、ただ拒否するのではなく、受入れ可能な、機関(病院)を教える等配慮願ひたい。</p> <p>利用者の高齢化が進んでおり、定期的な施設内訪問の上歯科検診や歯の治療および口腔内ケアなどを希望します。</p> <p>定期的な通院等では、全員の口腔内検診は行なえないので定期的な施設内訪問の上、歯科検診や歯の治療を希望します。</p>
知的障害者施設	<p>専門知識に基づいた、正しい、有用性のある、口腔管理方法(口腔ケア)、口腔機能向上(維持)方法について、介助者及び本人への指導を行ってほしい</p> <p>知的障害施設の為、治療が全身麻酔をかけてからでないと、出来ない利用者が数名いる為、出来る医師が、身近にいるとよい。近隣の医院に抑制(体を)出来る設備を、もう少し増やしてほしい。</p> <p>当センターでは、視力障害の方が、自立訓練を行ったり、鍼灸師や、あんま・マッサージ師の資格を取るための施設であり、日常生活や健康管理など自己で行える方が対象となっています。</p> <p>車椅子に乗車したまま、治療を受けられるとよい。</p> <p>歯科医師及び歯科衛生士による入所者の定期健康診査を実施しており、歯や口腔の疾患の早期発見早期治療が出来て良好である。</p>

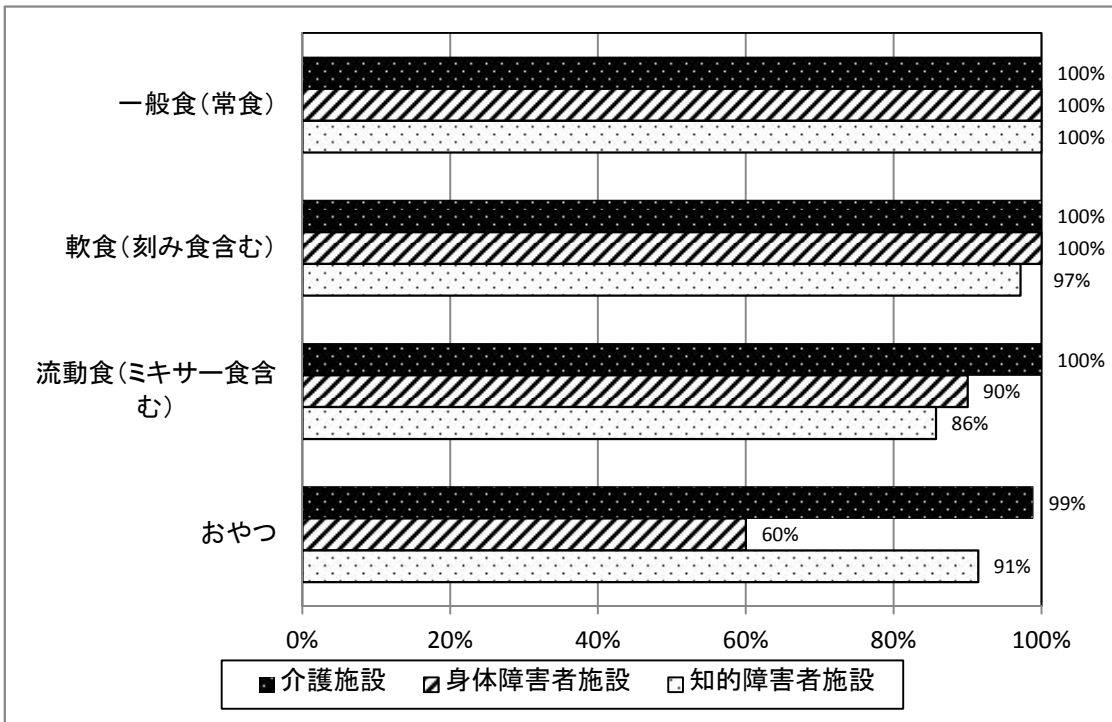
1. 貴施設についてお答えください。
 (1) 施設種別をお答えください。



(2) 開設者をお答えください。



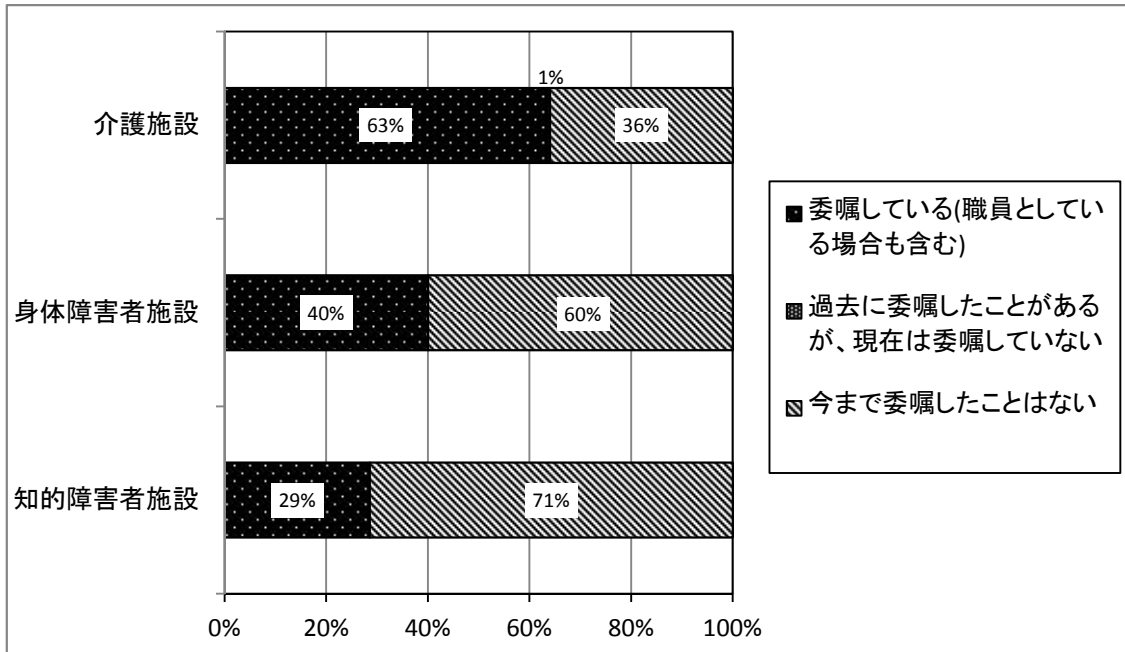
(5)入所者に提供する(できる)食事をお答えください。(複数回答)



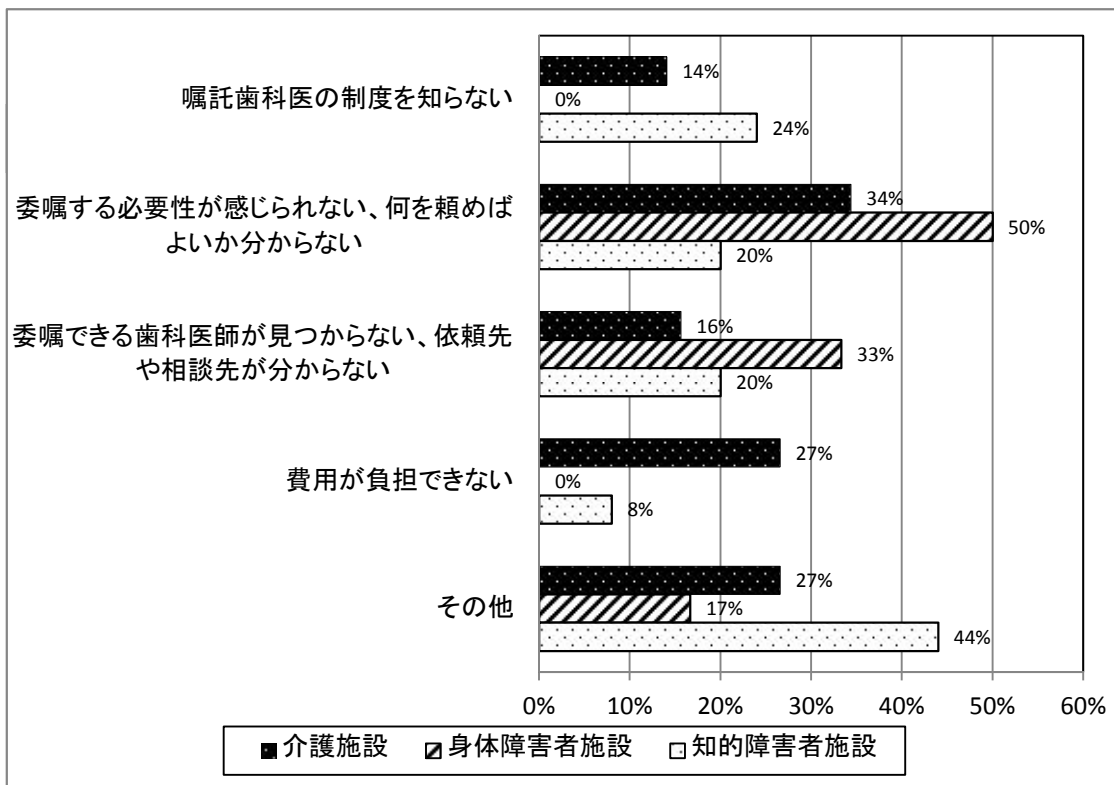
2. 貴施設の歯や口腔の健康管理に関する状況についてお答えください。

(1) 嘱託歯科医についてお答えください。

① 委嘱していますか。



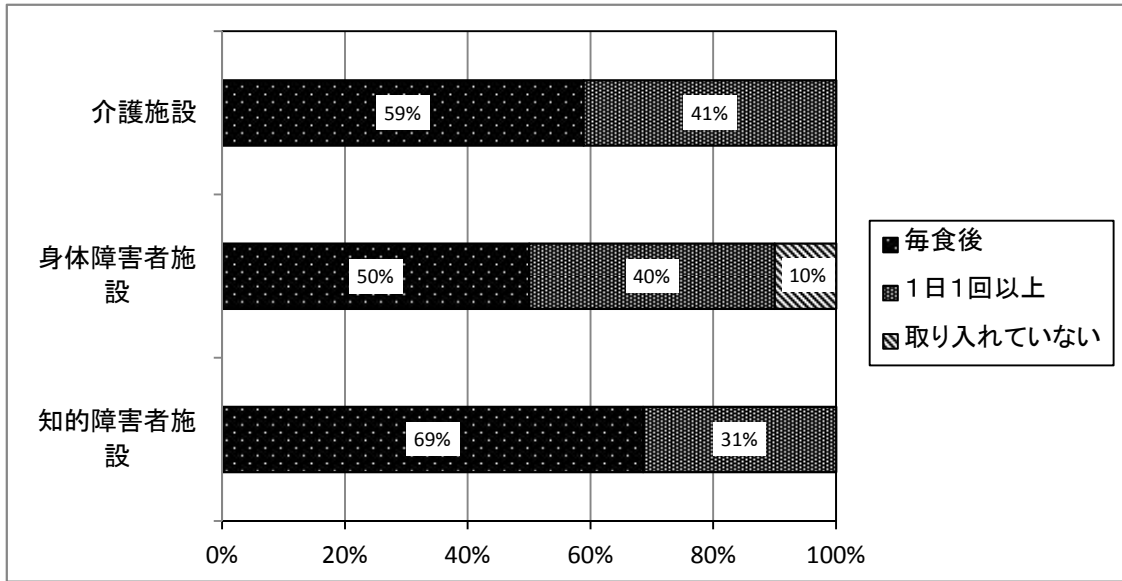
② 委嘱しない理由をお答えください。(複数回答)



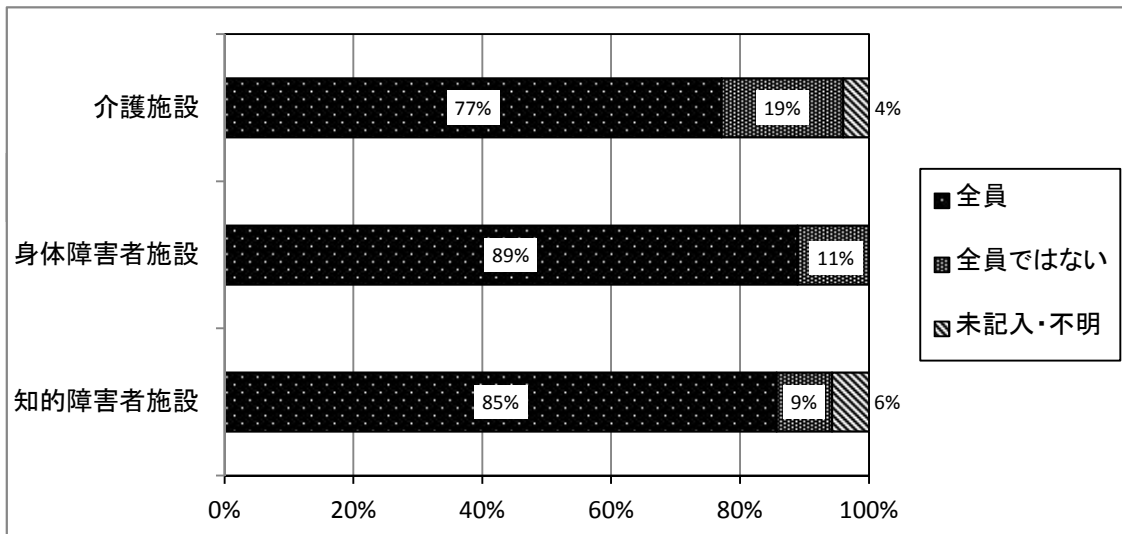
(2)入所者の歯や口腔の健康管理状況についてお答えください。

①歯磨きの機会を取り入れていますか。

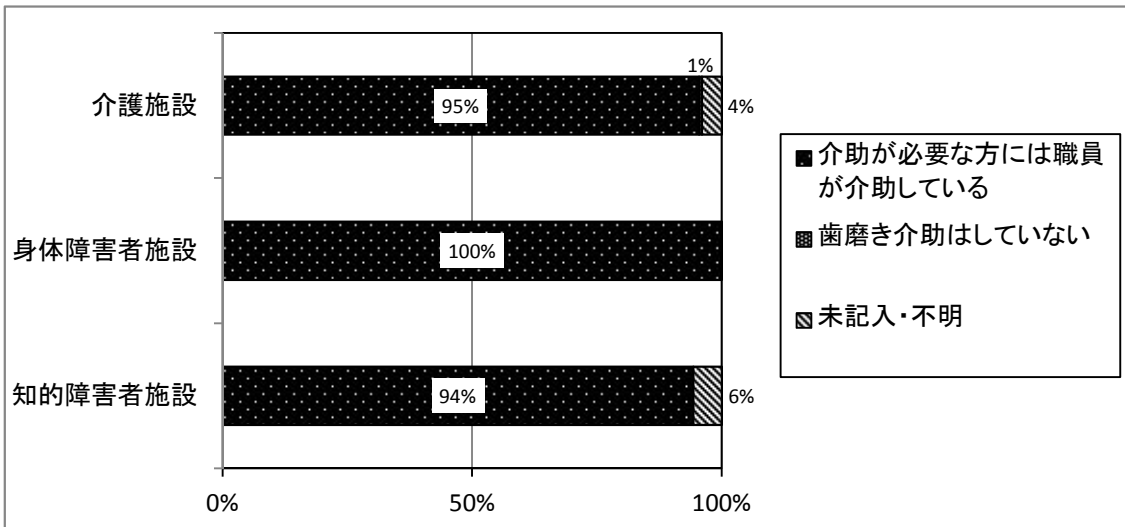
ア)頻度



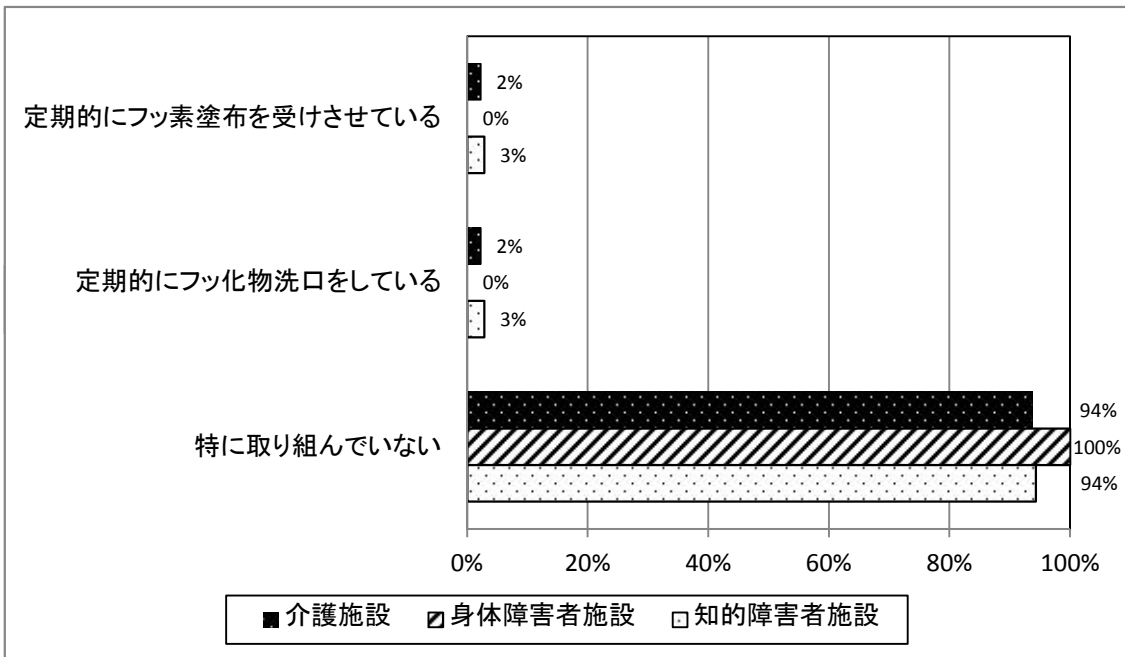
イ)対象



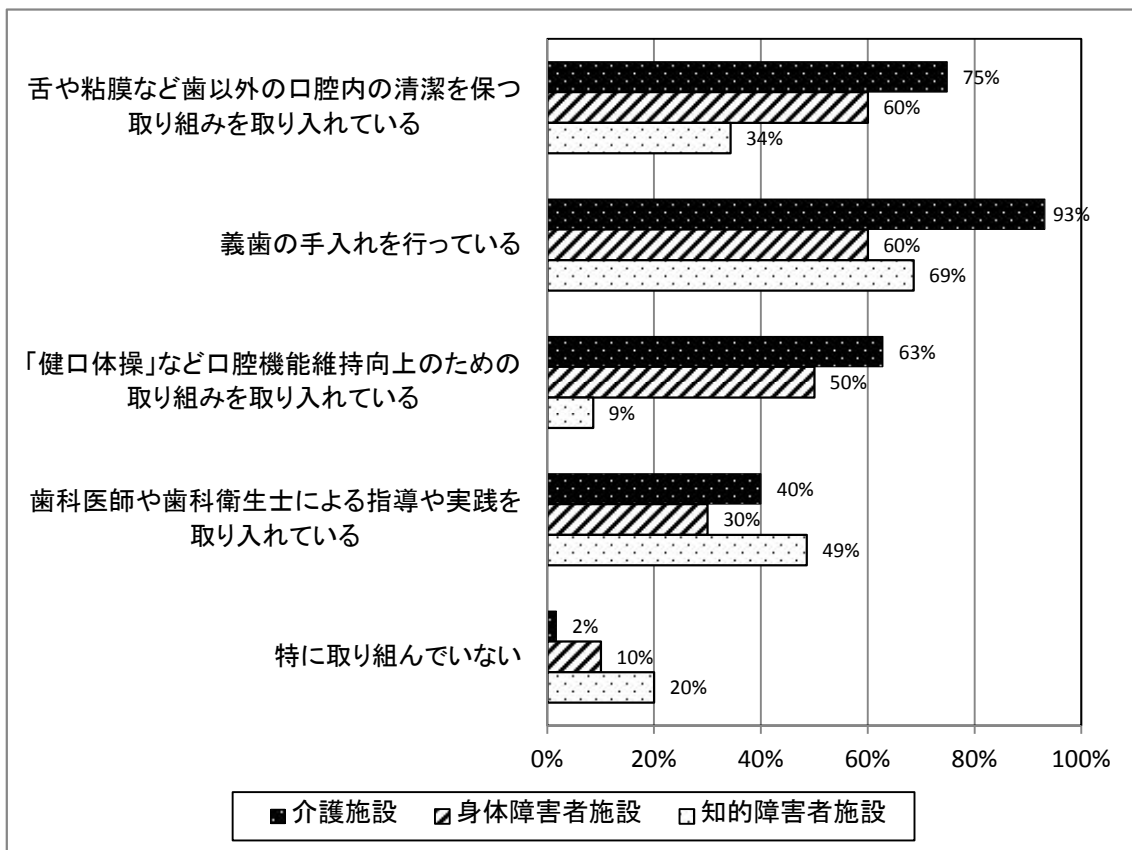
ウ)方法



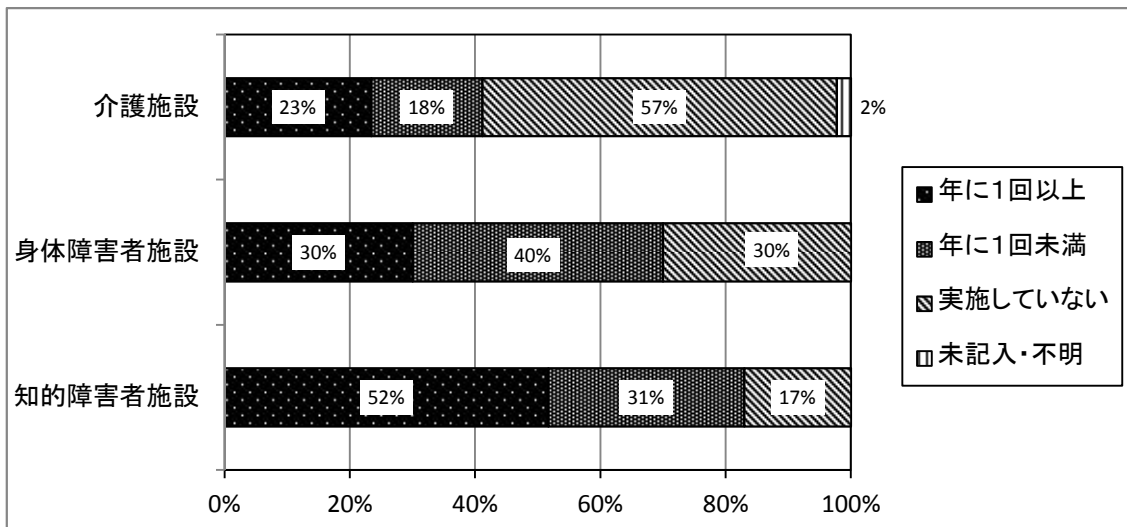
②歯磨き以外のう歯(むし歯)予防の取り組みについて。(複数回答)



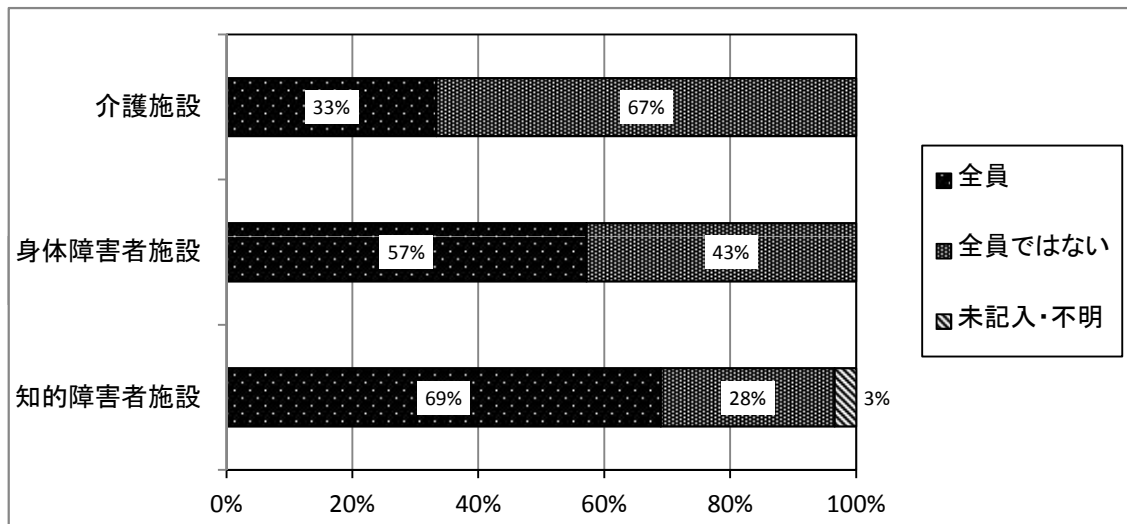
③口腔ケアや口腔機能向上の取り組みについて。(複数回答)



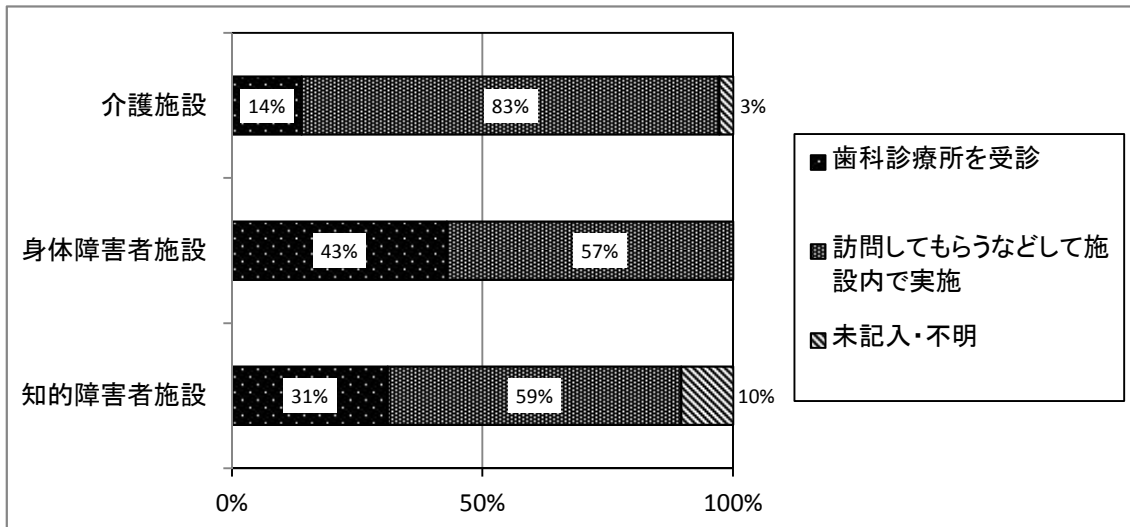
④歯科検診について。
ア)頻度



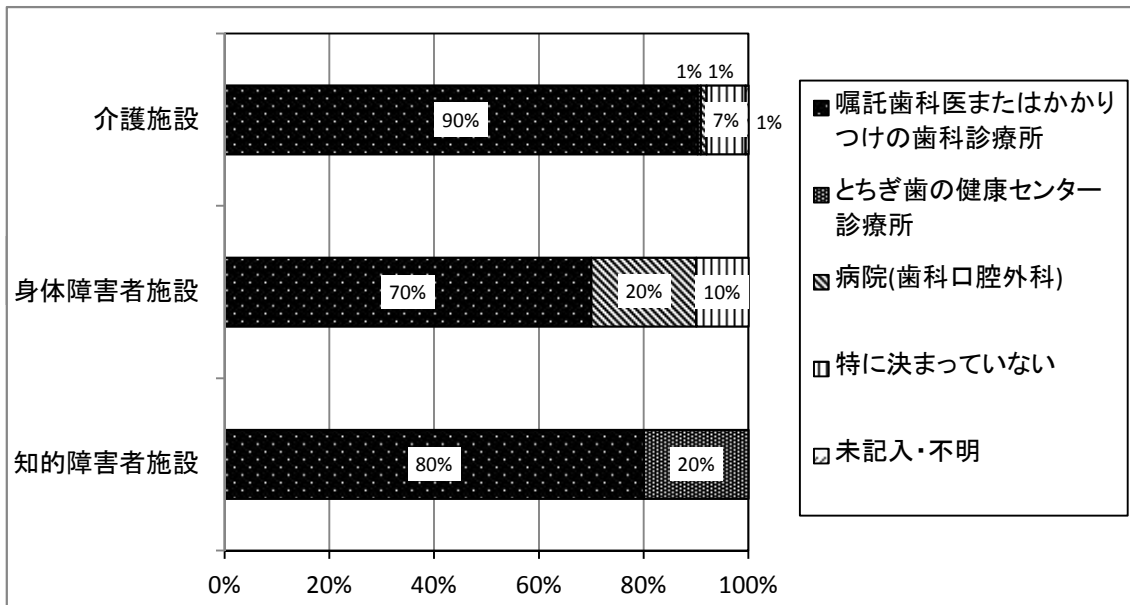
イ)対象



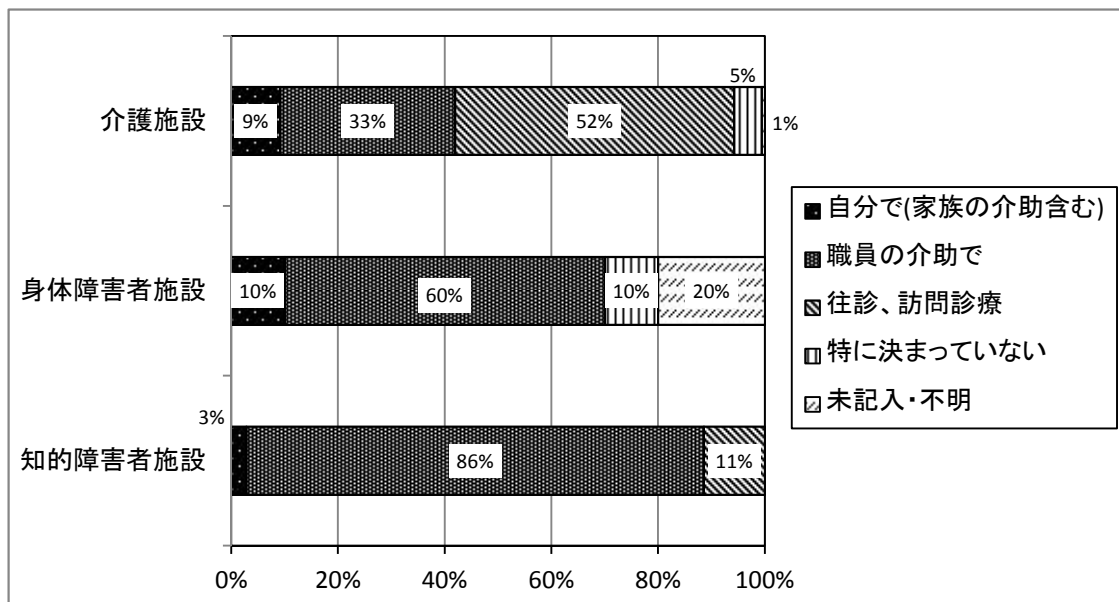
ウ)方法



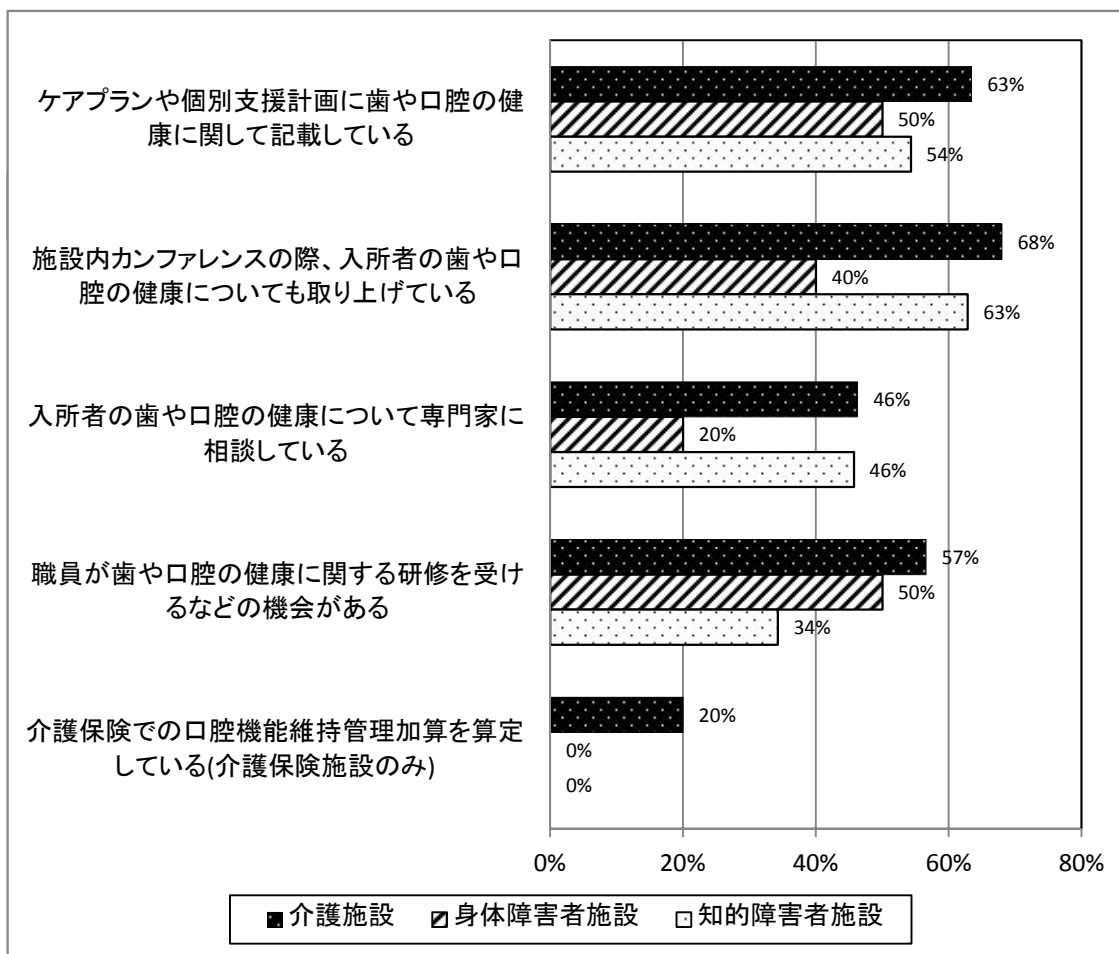
⑤歯科受診について。
ア)受診先



イ)受診方法

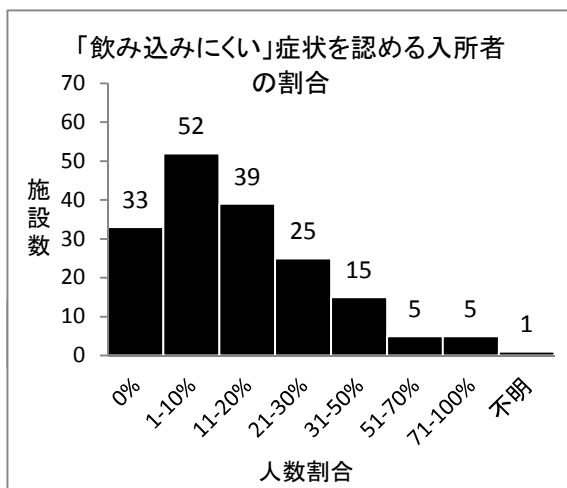
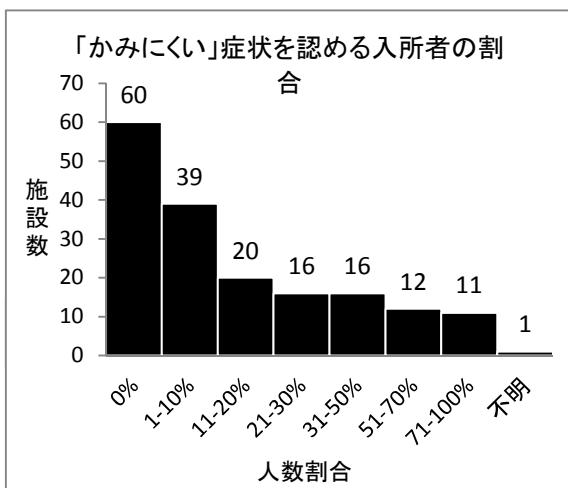
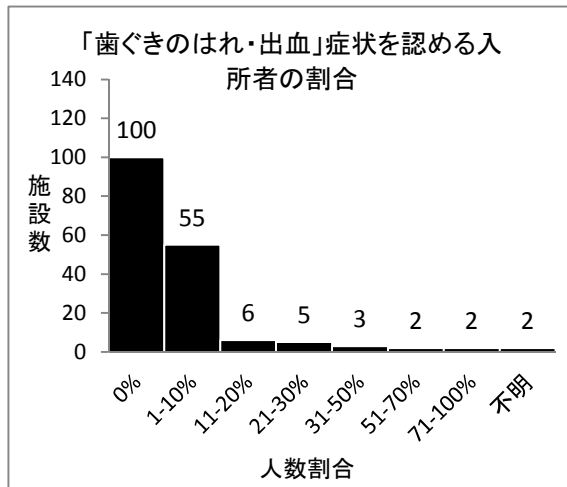
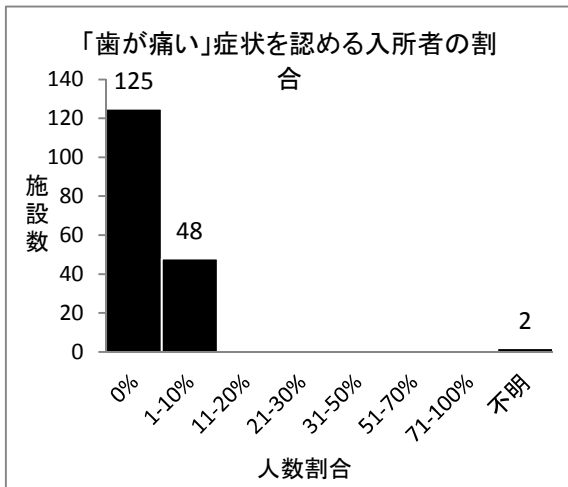


⑥その他取り組んでいることはありますか。(複数回答)

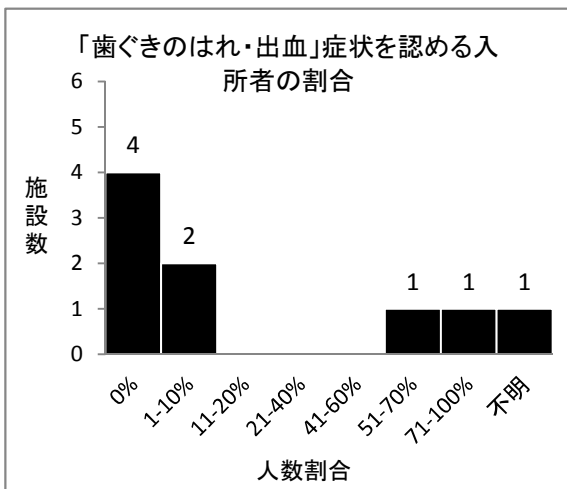
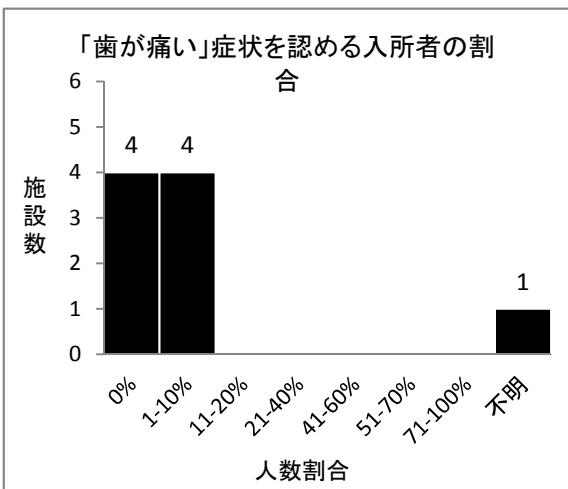


(3)入所者の歯や口腔の健康管理状態についてお答えください。
 * 施設区分、年齢区分ごとに「症状に自他覚的に該当する人数割合」の分布を示す。

【介護施設,65歳以上】

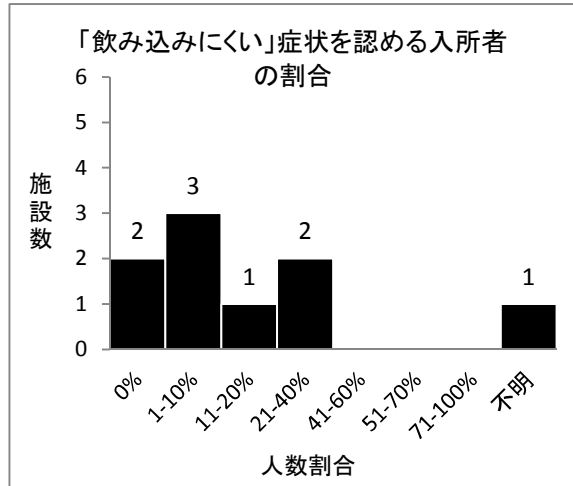
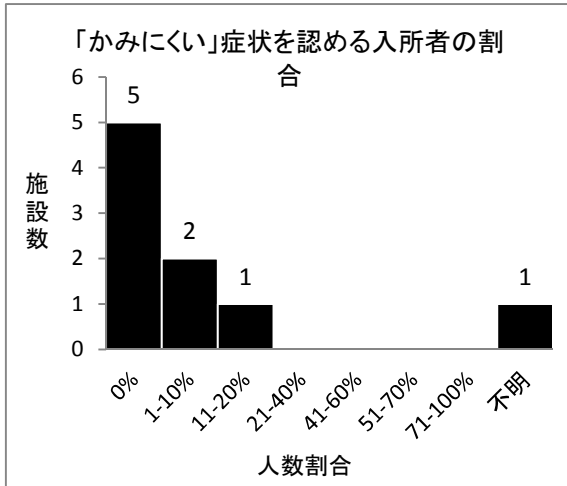


【身体障害者施設,18~64歳】

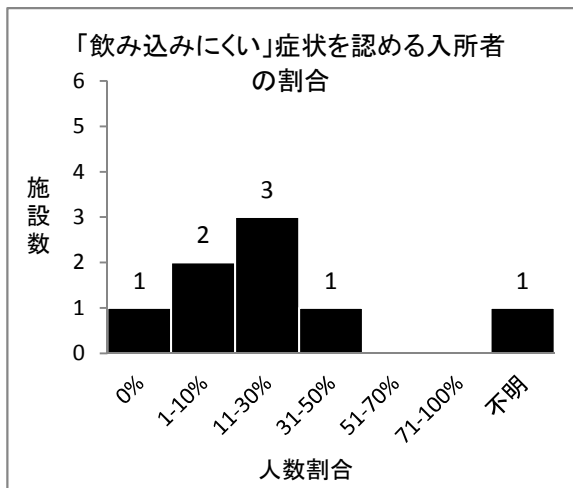
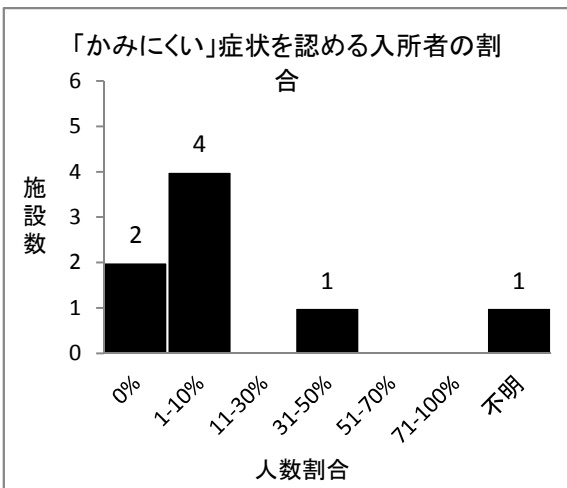
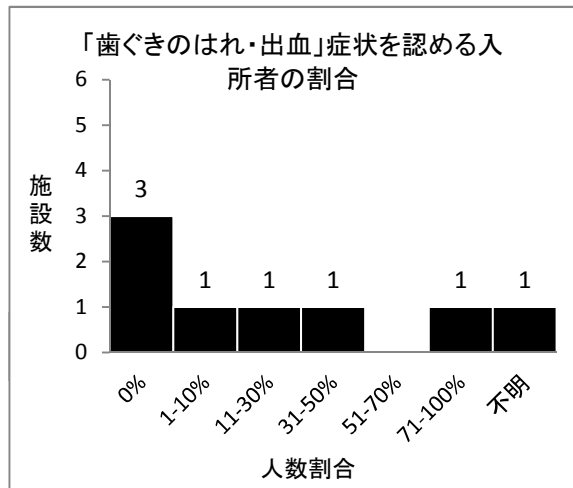
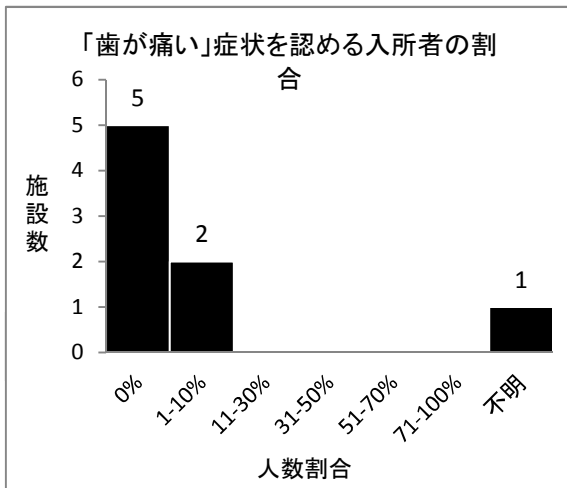


H23年度調査結果(図表)

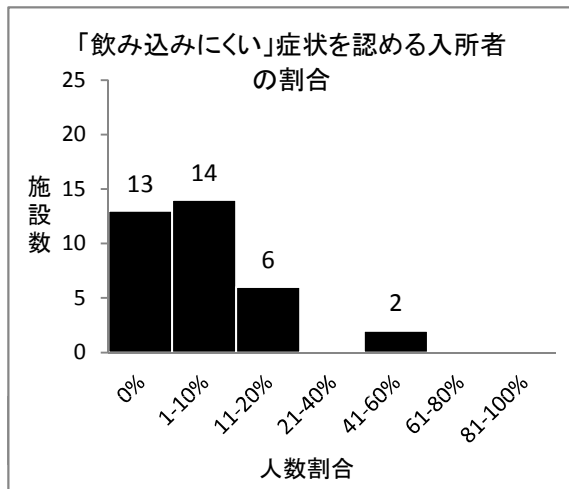
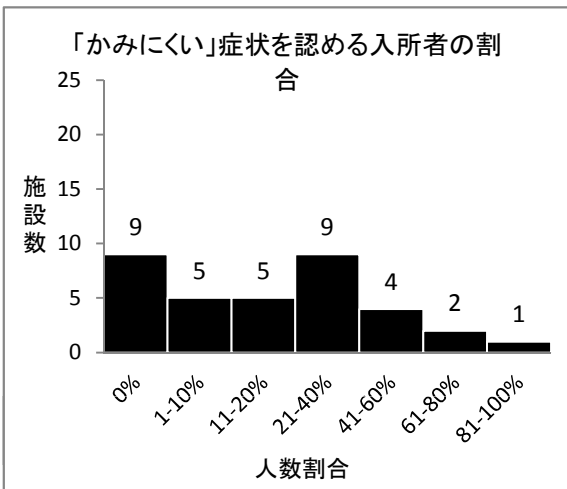
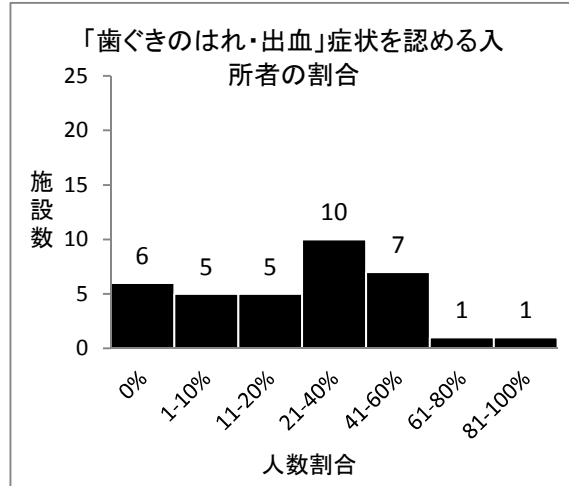
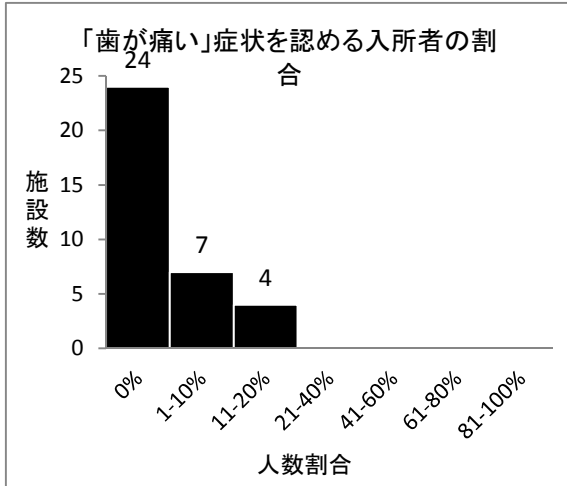
【身体障害者施設,18~64歳】



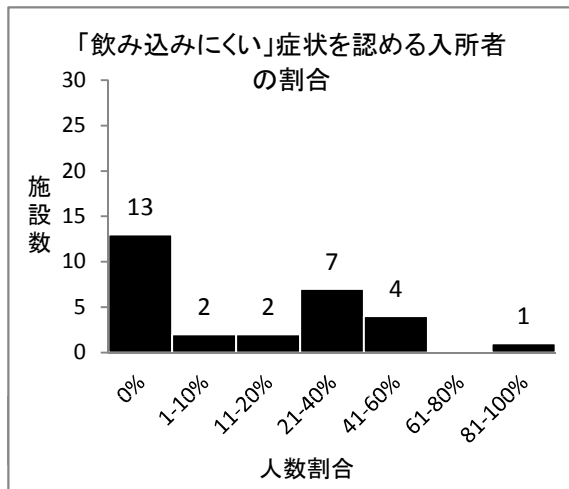
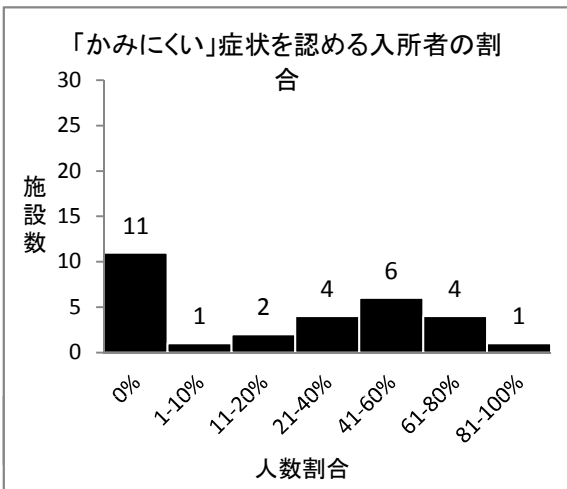
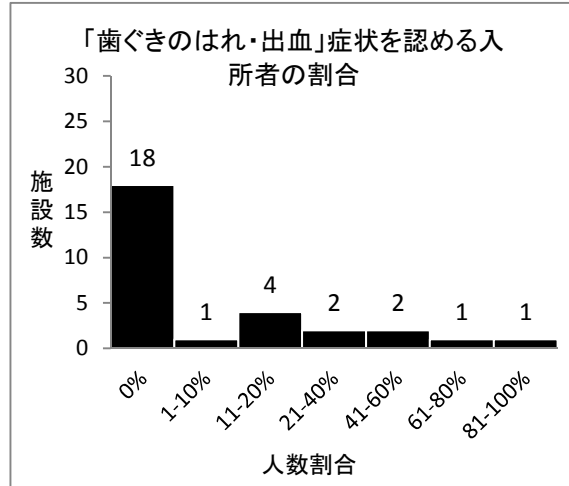
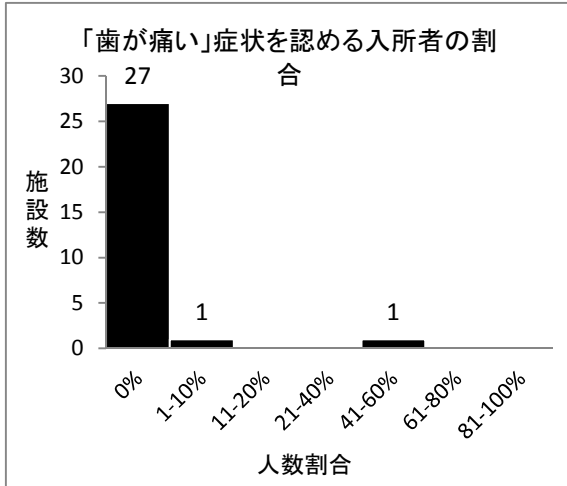
【身体障害者施設,65歳以上】



【知的障害者施設,18~64歳】

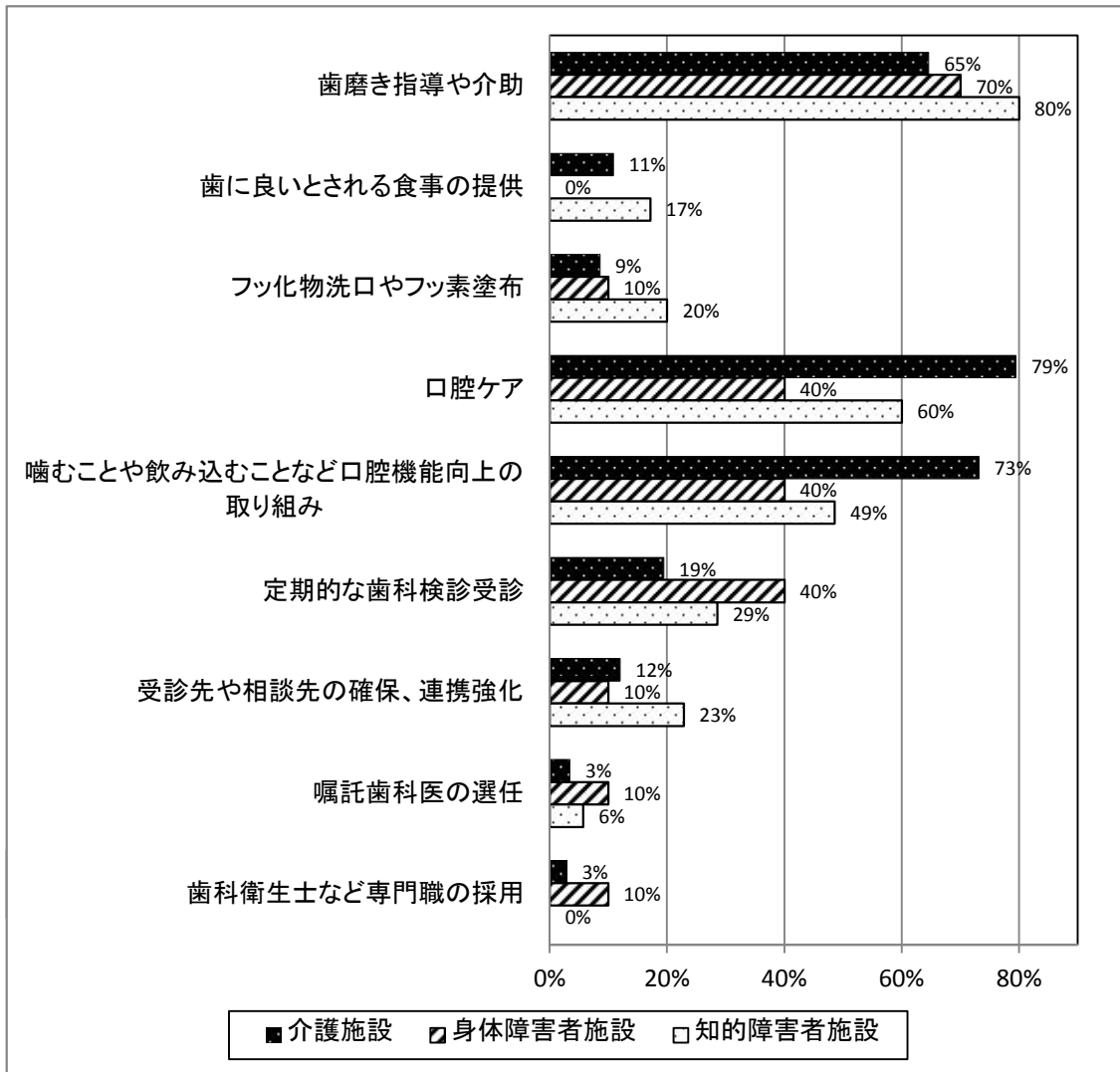


【知的障害者施設,65歳以上】



H23年度調査結果(図表)

(4)入所者の歯や口腔の健康管理のため、今後強化したい、または取り入れたい活動をお答えください
(複数回答:3つまで)



3.「栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例」(平成23年4月施行)を知っていますか。

